

医 学

富永祐民／青木国雄編

The UICC Smoking Control Workshop

〔品切〕B5判・118頁・2,500円

1981年8月に名古屋で開かれたUICC（国際対ガン連合）の中の喫煙対策研究会議の報告集。参加各国、特に今まで実体があまり明確でなかったアジア・アフリカ圏についての現状と、喫煙の実態から禁煙の法律についてまで貴重な報告がなされている。

〔1981〕978-4-930689-00-9

ローベルト・コッホ著 永坂三夫訳

結核病因論

B5判・164頁・3,000円

本書は、コッホが1882年に結核菌の発見を発表した第一論文と、2年後にその研究を補足し批判への反論とした第二論文の翻訳。何回もの動物実験や、病人からの結核菌の抽出などの症例をつみ重ねながら結核菌の存在を証明していく医師の執念は鬼気せまり、読者を感動させる。

〔1982〕978-4-930689-01-6

宮川正澄著

無菌空間

—ある医学部教授の半生の記録—

〔品切〕A5判・394頁・2,500円

本書は、第二次世界大戦後の廃墟の中で、無菌空間に無菌生物を創出し、純粋な生体反応の研究の道を切り開き、モルモットの長期無菌飼育達成、ラットの無菌繁殖に成功するなど多くの業績により、日本学士院賞を受賞した日本無菌生物研究所長の波乱に満ちた半生の記録。

〔1983〕978-4-930689-11-5

青木国雄／富永祐民／平山雄／広田豊編

Cancer Prevention in Developing Countries

B5判・656頁・12,000円

Proceedings of the First UICC Conference on Cancer Prevention in Developing Countries. 1981年のUICC（国際対ガン連合）本会議の報告集。1971年から80年の10年間にわたり、48カ国の発展途上国におけるガンの発生状況を、食物、環境、喫煙などの原因別に調査。

〔1983〕978-4-930689-02-3

市川宏／大頭仁／
鳥居修晃／和気典二編著

日本生命財団出版助成図書

視覚障害とその代行技術

〔品切〕A5判・310頁・3,800円

本書は、わが国の視覚代行技術研究の最近10年の歴史から、代行機器の研究過程と、技術開発に当たり解決を要する心理学的・生理学的諸問題を紹介する。〔目次〕医学的側面からみた視覚障害／心理学的側面からみた視覚障害／視覚代行のための生理工学／知的活動の補助／歩行補助

〔1984〕978-4-930689-13-9

祖父江逸郎著

臨床随想

—診る・考える—

〔品切〕四六判・288頁・1,800円

臨床では患者は神様である。疾病には各々に特徴的な症候があり、患者は、動作や言語的訴えを通じて疾病が示す特異的な症候を医師に知らせるからである。本書は、神経内科医である著者の豊富な臨床例のなかから、日常臨床で、疾病の病態や診断に役立つことを綴った。

〔1984〕978-4-930689-12-2

栗原登／青木国雄／富永祐民編

Cancer Mortality Statistics in the World

〔品切〕B5判・120頁・2,800円

世界のがん死亡統計の編集出版を通じ、がん研究の推進に貢献した故瀬木三雄教授の業績をたたえ出版された統計集。瀬木先生の統計資料に、さらに1968年から1979年までの資料を加え、過去30年間のがんによる死亡統計を39カ国にまたがって調査。臨床家にも必携の書。

〔1984〕978-4-930689-22-1

栗原登／青木国雄／久道茂編

Cancer Mortality Statistics in the World 1950-1985

B5判・106頁・3,883円

前掲 *Cancer Mortality Statistics in the World* は世界39カ国の1950年から1979年までのがん死亡統計集であるが、本書はその後の調査研究を踏まえて1950年から1985年までを対象に一層の充実を計り、がん死亡に関する最新の統計情報を提供する。

〔1989〕978-4-8158-0121-2

伊藤文雄著

筋感覚の科学

—運動のたくみさをさぐる—

〔品切〕B5判・424頁・8,500円

ヒトの運動が合目的になされるためには、様々な筋感覚器から伝えられる空間像が一致するとともに、運動による物質界の変化をフィードバックして像を補正しなければならない。本書は、筋感覚の正しい理解により臨床医学における治療やリハビリ、更にはスポーツ科学の発展に寄与。

〔1985〕978-4-930689-33-7

伊藤文雄著

日本生命財団出版助成図書

筋感覚からみた運動制御

〔品切〕B5判・420頁・9,000円

筋感覚は運動の制御に不可欠な情報でありながら、従来生理学の教科書の中でも余り触れられない分野であった。本書は、運動制御における筋感覚の意義に始まりその機能と構造を詳細に解説。スポーツ科学や老人医学、リハビリ、ロボット工学などの関係者必携の解説書と言えよう。

〔1989〕978-4-8158-0122-9

伊藤文雄著

筋感覚

—骨格筋からのメッセージ—

〔品切〕B5判・264頁・8,000円

無重力空間での宇宙酔いなどで近年注目されている感覚情報、すなわち骨格筋内の感覚情報の起源と、中枢神経系への関与を詳述した。この感覚情報は、姿勢制御や運動疾患にも深く関わり、運動異常の因子になっている。前著『筋感覚の科学』『筋感覚からみた運動制御』の大幅な改訂版。

〔1994〕978-4-8158-0220-2

近藤達平監修 伊藤要／七里元亮編

人工膵臓の基礎と臨床

B5判・208頁・8,000円

糖尿病の治療法として期待される人工膵臓について、その歴史からシステム・種類と構造、将来までをまとめた。〔目次〕1「歴史と概要」／2「Closed-loop式人工膵臓」／3「Open-loop式人工膵臓」／4「Bioartificial Pancreas (Hybrid型)」／5「人工膵臓の将来」。

〔1985〕978-4-930689-26-9

小林寛道著

メキシコの子どもの体力と生活環境

—国際比較へのフィールドワーカー—

〔品切〕A5判・290頁・3,800円

インディオと白人の混血であるメキシコ人の体力や、白人や日本人の結果と比較すれば、人種や民族がもつ体力の遺伝的要因を知ることが出来ないか。本書は、こうした問題意識からメキシコの子どもの体力を、厳しい貧富の差をも考慮しつつ精査した資料集かつ民族研究書。

〔1985〕978-4-930689-25-2

石塚直隆著

もう一つの軌跡

四六判・364頁・2,000円

絨毛性腫瘍の研究などで知られる著者は、名古屋大学学長や大阪府立母子保健総合医療センターの初代総長をも務め、昭和60年春に叙勲された。常に人間の誕生にかかわってきた著者が自らの歩みをたどりながら生い立ち、座右銘、教育問題、男と女、外国旅行などについて語る。

〔1985〕978-4-930689-40-5

小川鼎三監訳 酒井恒訳編 日本生命財団出版助成図書

ターヘル・アナトミアと解体新書

〔品切〕A4判・780頁・30,000円

「解体新書」はオランダ語版「ターヘル・アナトミア」の本文のみの漢訳である。本書は、膨大な註釈を含む現代語の完訳で、わが国に4冊しかない「ターヘル…」と「解体新書」全頁を復元、現代語訳と漢文読下し、註解を見開きで対応させた画期的構成である。日本翻訳出版文化賞受賞

〔1986〕978-4-930689-46-7

大橋 勝編

アミロイドーシス

—皮膚と全身—

〔品切〕B5判・270頁・9,800円

アミロイドーシスとは、アミロイド線維を主成分とするアミロイド蛋白が組織間隙に沈着する原因不明の代謝疾患である。本書は、「皮膚と全身」に焦点をあてて、基本概念から研究の最前線までを平易に解説する。アミロイドーシスの全体像をつかむ上で必携の書。文献リストも充実。

〔1987〕978-4-930689-54-2

景山直樹編

Proceedings of the First International Symposium on Pediatric Neurooncology

菊判・304頁・8,000円

1985年鳥羽市で開かれた第1回国際小児脳腫瘍学会の報告集。Intracranial Tumor of Infancy and Childhood (スイス Karger 社)の姉妹篇で、脳神経外科、神経病理、神経放射線、神経眼科、神経内分泌学等々の世界的研究者による白熱の討論が、78項目に亘って紹介されている。

〔1987〕978-4-930689-65-8

蔵内百治／渡辺一功／岡田伸太郎編 日本生命財団出版助成図書

Neonatal Brain and Behavior

B5判・230頁・8,000円

脳虚血と頭蓋内出血は新生児の脳性まひの最も重要な原因である。本書は脳性まひに関する最新の研究、つまり脳の損傷についての形態学的、生理学的、代謝・生化学的知見、ポリグラフィや超音波モニターによる診断手技や脳性まひの小児のその後の発達や行動に及ぼす影響について解説。

〔1987〕978-4-930689-70-2

ノエル・S.ワイス著 青木国雄監訳 浜島信之／佐々木隆一郎訳

医療の疫学

—病気の転帰に関する研究—

〔品切〕A5判・200頁・4,000円

実際の具体的症例に即して、検査の意義、治療の効果の評価、薬剤の副作用の測定方法等、臨床家や医療行政担当者にとって必要な事項を平易に解説。費用と恩恵を数量的に測定し、医療の採否に理論的な判断を下す方法を解説した箇所は、わが国の出版物には類をみない。

〔1987〕978-4-930689-81-8

和田武雄／青木国雄／谷内昭編

Current Status of Cancer Research in Asia, the Middle East and Other Countries

B5判・292頁・7,000円

1986年札幌で行われたUICC（国際対がん連合）と日本がん学会共催の「がんの地域特性についての会議」の報告集。これまで余り明らかにされなかったアジア、中東ならびに他の諸国におけるがんの実態、発生原因、第一次予防とその成果を詳報する。

〔1987〕978-4-930689-76-4

Hearse/Braimbridge/Jynge 著 阿部稔雄監訳

心筋保護法

—基礎と臨床—

〔品切〕B5判・436頁・12,000円

〔1988〕978-4-930689-97-9

木村禧代二監修 田嶋基男／日本生命財団出版助成図書
柴田偉雄編集

鑑別を主体とした細胞診断学

—がんの早期発見のために—

〔品切〕B5判・480頁・15,000円

〔1989〕978-4-8158-0104-5

H. デュピイ／G. ツェレット著 松本忠雄／岡田晃他訳

全身振動の生体反応

〔品切〕A5判・224頁・4,500円

〔1989〕978-4-8158-0112-0

田嶋基男／社本幹博／山岸紀美江編

細胞診の基礎と応用

—臨床検査技師・細胞検査士になるために—

〔品切〕B5判・230頁＋カラー38頁・8,000円

〔1990〕978-4-8158-0138-0

塩野谷恵彦著

Buerger's Disease

—Pathology, Diagnosis and Treatment—

B5判・266頁・8,000円

〔1990〕978-4-8158-0150-2

長与健夫著

History of Japanese Medicine in the Edo Era

—Its social and cultural backgrounds—

〔品切〕四六判・224頁・3,500円

〔1991〕978-4-8158-0162-5

R. ドル／R. ピート著 青木国雄／大野良之訳

ガンはどれだけ避けられるか

—今日のアメリカの研究成果から—

〔品切〕A5判・312頁・4,369円

〔1991〕978-4-8158-0164-9

最近の心臓手術は安全なものになった。それは低温と薬剤による心停止下に手術する方法、心筋保護法の開発によるところが大きい。本書はその理論と実際をわかりやすく、かつくわしく述べたもので、欧米諸国で高い評価をうけているものの翻訳である。

細胞診に関する書物は多いが、これらは大抵典例について教訓的に記述され、直接役立たず隔靴搔痒の感はまぬかれなかった。本書は、執筆者の多くが実際の細胞検査に携わり、その思惟過程が書かれているので、適確な指針と手法を与えてくれる。カラー症例120頁、119症例所収。

輸送交通機関関係者とその利用者、建設現場の作業者や付近の住民等、機械振動にさらされる人々は、身体的・精神的にその影響を様々な形で受けている。本書は、このような全身振動の影響を産業医学の今日の水準から究明し、関連する病気の補償と予防対策に指針を与える。

初めて細胞診を学ぶ学生に分り易く系統立てて理解させるためにはどのような教科書が必要か？このような視点にたち永年現場の第一線で教え、かつ、各種試験の出題委員なども務めた筆者たちが、経験から割り出し十分に検討して作られた細胞診のための最新の教科書。カラー図版300枚。

厚生省特定疾患（難病）にも指定されているBuerger病はその研究の歴史が百余年にもなるが、今なおその本態については結論をみていない。本書は、70年にわたる名古屋大学第一外科の研究成果をもとに、現時点における本疾患の研究の現状と問題点を整理し、まとめられた。

江戸時代に活躍した杉田玄白、前野良沢、シーボルトなど多くの医師の業績を辿りながら、業績をあげるに至った動機、時代背景、また蘭学が漢方との相剋を色濃くしながらも自然科学の他の領域にも拡がり、現在の医学教育のヒナ型が江戸時代にあったことを平易に描く。

がんを避ける（発生を防ぐ）にはどうしたら良いかという視点に立って過去の文献や資料を再解析し、がんの原因と発生機序を人間のみのデータをもとに疫学的に調査、研究した。その結果、人間のがんの大部分は避けることが出来るという結論に達した画期的な書である。

祖父江逸郎著

臨床の視点

四六判・272頁・2,000円

臨床は医師と患者の触れ合いの場である。患者はいつも新しい問題の提供者であり、医師はいつも真剣勝負の構えが必要である。好評の『臨床随想』の続篇である本書は、このような日常臨床から得られたヒントをもとに、新たに高齢医療にも焦点をあてて綴られた待望のエッセイ集である。

〔1992〕978-4-8158-0192-2

阿部稔雄編

大動脈解離

—病理・診断・治療—

B5判・224頁・9,000円

1週間以内の死亡62%、2週間以内80%、3か月以内89%といわれるこの疾患は近年増加の傾向にある。迅速な診断と適確な治療方針の必要な怖るべき疾患に如何に対処すべきか。病理、病型、自然予後、治療方針のたて方、外科治療にわたって最新の治療体系をまとめた本邦初の成書。

〔1992〕978-4-8158-0194-6

田嶋基男／松田実／社本幹博／山岸紀美江編

臨床細胞学

—textbook of clinical cytology—

B5判・352頁・9,515円

1990年に刊行し好評を得た『細胞診の基礎と応用』をもとに、新しく老人保健法、癌遺伝子などの項目を加え大幅に改訂。カラー写真の細胞標本も本文に対応する箇所に入れ、よりビジュアルで読み易くした。臨床検査技師を目指す人と指導医のための教科書。

〔1993〕978-4-8158-0198-4

栗田宗次／須知泰山／小川一誠／中村栄男著

悪性リンパ腫細胞診アトラス

—診断と治療の選択—

〔品切〕B5判・112頁・8,000円

本文を解説編とアトラス編にわけ、解説編では、必要な手技や構成細胞について述べ、アトラス編では、代表的な症例をメイ・ギムザ染色とPap.染色による細胞像をHE染色による組織像とともにカラー写真で示した。特に従来解説が不十分だったT・B細胞系列について詳述した。

〔1994〕978-4-8158-0238-7

岩田久／見松健太郎／佐藤啓二／長谷川幸治編

整形外科医のノウハウ・ポイント

B5判・288頁・4,500円

インフォームドコンセントが重視される中、患者との対応の仕方など医療の基本的な所で問題が多い。そのために、テキストに記載されることは少ないが医療の現場で重視されだした医師としての人間性や基礎的な所見の取り方、研究の方法などを整形外科の新人医師のために纏めた。

〔1995〕978-4-8158-0253-0

堀場希次／澤田勤也／田嶋基男編

病態生理と看護学

B5判・302頁・3,800円

看護学校の4年制導入を踏まえ、ハイブローな医療者としての看護師を養成すべく、病の各種症状とその発生のメカニズムを分かりやすく説明し、対応する看護法を詳述したテキスト。類書には記述の少ない「無菌室看護」や「訪問看護」、「在宅看護」にも多くの頁を割いた。

〔1996〕978-4-8158-0284-4

伊藤文雄編

クローズアップ生理学

—理学療法士・作業療法士のための生理学—

B5判・252頁・4,000円

理学療法士や作業療法士のために書かれた生理学のテキスト。生理学のテキストは多いが、ほとんどが古い知識によっており、実際に役立つものが少ない。本書は、最新の知識に基づき、かつ理解しやすいように図を多用した。医学部学生や体育生理学の専門家にも役立つように配慮されている。

〔1996〕978-4-8158-0296-7

加藤延夫／石垣武男／林博史／鈴木善男編

インドへの医療協力

—名古屋大学とサンジャイ・ガンジー医学研究所の交流—

〔品切〕B5判・258頁・5,000円

90年8月から95年7月までの5年間、インドのサンジャイ・ガンジー医学研究所への名古屋大学医学部挙げての医療協力を、事前調査の段階から計画・実践・成果・問題点まで専門分野ごとに事業に携わった医師達とインド側からの研修医達が記録した、国際協力を考える上で示唆に富む書。
〔1997〕978-4-8158-0308-7

飯島宗一／加藤延夫監修 堀田知光／太田美智男編

人間性の医学

四六判・388頁・2,400円

現在医学が直面している問題と最新の研究を医学者と評論家、哲学者が多角的に考察する。柳田邦男「尊厳死・安楽死」、山口昌男「文化人類学からみた“医”の構造」、伊藤正男「意識の脳科学」等。1995年に名古屋で開催された第24回日本医学会総会を記念して刊行された。
〔1997〕978-4-8158-0316-2

太田美智男編

テキスト医学生物学

B5判・350頁・6,000円

多くの大学で教養部が廃止され医学部は6年一貫教育となった。本書は専門教育へのステップとして、より理解しやすいテキストを目指して、気鋭の研究者、臨床医が医学の基礎となるヒトの生物学を、遺伝、細胞、発生と分化等、各分野ごとに熱意を込めて執筆した新しい入門書である。
〔1997〕978-4-8158-0322-3

浅井淳平著

井底蛙談

—或る研究者の心象風景—

四六判・320頁・2,500円

大学人・病理学研究者として38年間、母校に場を与えられた著者が、井の底の蛙のように限られた視角の中で思念したことどもを束ねたエッセイ集。医学的に人の死生を冷徹に受けとめる立場にあった著者の、真理を求めつづけたロマンと生命への深い畏敬の念が全編に溢れ出ている。
〔1997〕978-4-8158-0324-7

原一夫／大橋勝著

メラノサイト病変

—病理組織の見方と鑑別診断—

B5判・144頁・8,000円

メラノーマ（ほくろの癌）の病理診断は、早期では救命となり、進行期では時に死の宣告となる。本書では、近年増加の傾向にある皮膚のメラノサイト病変全般にわたって、皮膚科医や病理医が知っておくべき病理診断のポイントを、簡潔な記述と多くの症例写真を用いて分かり易く示した。
〔1997〕978-4-8158-0335-3

小林達也編

ガンマナイフ治療

—症例を中心として—

B5判・210頁・12,000円

ガンマナイフとはガンマ線を使い脳の中の動静脈奇形や腫瘍を治療する無侵襲の手術技術である。本書では1991年全国に先駆けて治療を開始し、1,500人以上の患者を手掛けた小牧市民病院の医師たちがガンマナイフ治療の歴史と実際を簡潔にまとめ、104例の症例について詳しく解説した。
〔1998〕978-4-8158-0336-0

伊藤文雄編

クローズアップ臨床栄養学

B5判・164頁・4,000円

従来の栄養学は、体外の物質から補給する飲食物を中心に考えられていたが、本書は飲食物を摂取する体の側に視軸を置き、医学的な基礎知識を中心に据えたテキストである。現代医学の最前線である遺伝子解析やホルモンの働き、細胞膜にある受容体の変化なども図を多用して平易に解説した。
〔1998〕978-4-8158-0341-4

岩田久監修 長谷川幸治／横江清司著

よくわかる膝関節の病気・ケガ

A5判・142頁・1,800円

膝の関節は、病気やケガでもっとも影響を受けやすい。特にスポーツによる外傷や障害は、膝が一番多い。また高齢化にともない、変形性膝関節症の患者が飛躍的に増加している。こういった現状をふまえ、膝関節の病態やその予防方法をイラストでわかりやすく解説。

[1998] 978-4-8158-0348-3

坂行雄監修 佐竹立成編

急性死の症例 100

—臨床と病理—

B5判・278頁・10,000円

名古屋掖済会病院で剖検された100症例を選び、その臨床経過と剖検所見を対比させ検討を加えた。特に各分野の専門医が症例ごとに、コメントなどを担当。視覚的にも読者に理解しやすいように、2頁で一症例を紹介。救命救急医療に関わる医療従事者に必携の書。

[1998] 978-4-8158-0349-0

玉木正男／林文字／林邦昭著

新版 臨床医学概論

—放射線診療学を学ぶ人のために—

B5判・166頁・3,800円

最新の鮮明なX線CT、MRIなどの画像を満載した臨床医学入門書。放射線領域のみならず、臨床医学全般にわたって知っておくべき知識を厳選・整理して提示する。遺伝子治療、臓器移植、介護保険など現代の医療問題や医療倫理の記述も盛り込んだ放射線技師養成に最適のテキスト。

[1999] 978-4-8158-0363-6

上田 実編

ティッシュ・エンジニアリング

—組織工学の基礎と応用—

B5判・302頁・9,000円

近年の組織工学研究の発展は目覚ましく、この技術を応用した製品開発が世界中で急速に進んでいる。本書は、基礎生物学的情報、培養臓器研究等、最新の知見を提示した本邦初の成書であり、臨床医には基礎的背景の理解のための手引き、基礎研究者には臨床現場を理解する手助けとなろう。

[1999] 978-4-8158-0370-4

齋藤英彦／吉田純編

遺伝子医療

—基礎から応用へ—

B5判・292頁・6,500円

本書は、遺伝子治療を中心に、遺伝子の基礎から遺伝子診断、生殖医療などの臨床応用の最先端までを系統的に解説。特に名古屋大学医学部での国産独自技術による遺伝子治療や北大、東大、岡山などで臨床研究を盛り込んだ。国内外での遺伝子医療の現状をトータルに知る上で必携。

[2000] 978-4-8158-0385-8

浜島信之著

多変量解析による臨床研究 [第3版]

〔品切〕A5判・248頁・4,800円

治療効果などの判定に用いられる多変量解析の中心的手法、比例ハザードモデルとロジスティックモデルに焦点をあてて解説。この第3版では臨床研究に使用され始めた「landmark法」「メタアナリシス」等、最新の知見と解析手法を盛り込み、臨床家・疫学者にも必要十分の一冊に仕上げた。

[2000] 978-4-8158-0386-5

渡邊一功／森島恒雄／小島勢二監修 堀部敬三／梶田光春編

小児科診療マニュアル

四六判・648頁・7,500円

本書は、小児科医、内科医、研修医などを対象に第一線の現場ですぐ役に立つよう編集された「診断と治療」のハンドブックである。とくに小児科一般臨床で3年に一例は経験するであろう疾患を対象として、最新の治療法を具体的に詳述。名古屋大学小児科学教室の総力を結集した一冊。

[2002] 978-4-8158-0427-5

鈴木薫／吉村泰典／堤治編

新しい産科学

—生殖医療から周産期医療まで—

B5判・286頁・4,800円

本書は、妊娠、分娩の生理など周産期医療に重点をおきつつ、生殖医療についても最先端から生命倫理まで丁寧に解説したテキストである。医師国家試験のガイドラインに基づき重要項目を網羅するとともに、産科学を総括的に吸収できるように編集した医学生、看護学生、助産師必携の書。

[2002] 978-4-8158-0434-3

高柳哲也編

介助犬を知る

—肢体不自由者の自立のために—

A5判・354頁・2,800円

障害者の日常動作を援助する介助犬は、2002年成立の身体障害者補助犬法で初めて法的に位置づけがなされた。本書はこの「生きた自助具」について、有効性や日本での現状と課題などトータルに紹介しており、医療・福祉関係者のみならず、介助犬に関心を持つ全ての人が対象の書である。

[2002] 978-4-8158-0452-7

堀田饒監修 糖尿病と血管障害に関する研究会編

糖尿病

—予防と治療のストラテジー—

B5判・336頁・5,000円

糖尿病人口は著増しており、今後も増加の一途をたどるであろう。本書は、日常診療において十分な対応ができるよう、最新の知見にもとづき、合併症に重点をおきつつ糖尿病の予防と治療の実際、医療経済と治療の最前線まで丁寧に解説、糖尿病に関わる医療関係者に必要十分な一冊とした。

[2003] 978-4-8158-0454-1

中辻憲夫編

再生医学の基礎

—幹細胞と臓器形成—

B5判・212頁・6,500円

将来の臨床応用に向けて、再生医学への期待が高まっている。本書は、肝臓・脳神経・骨など全身の臓器・組織について、発生生物学的な基礎的知見を丹念に整理すると同時に、ES細胞・組織幹細胞などを用いた最先端の研究の状況、今後の展望まで系統的にバランスよく記述した。

[2003] 978-4-8158-0466-4

後藤節子／森田せつ子／鈴木和代／大村いづみ編

新版 テキスト母性看護Ⅰ

B5判・222頁＋別冊32頁・3,700円

母性看護学の概論や保健分野を中心に扱いつつ、性差医学・生殖補助医療など最新の話題も解説。母子をめぐる日本社会の大きな変化や医学の発展を踏まえ、新たな知見を大幅に取り入れ全面的に改訂を加えた本書は、看護学生のみならず看護師のリフレッシュ教育としても最適のテキスト。

[2005] 978-4-8158-0512-8

後藤節子／森田せつ子／久納智子／濱松加寸子編

新版 テキスト母性看護Ⅱ

B5判・310頁・4,300円

妊・産・褥婦と新生児の生理学的特性、周産期の正常・異常経過とその看護を、看護教官・助産師・医師らが詳細に解説。改訂にあたり記述を全面的に改めるとともに、カンガルーケアや母乳育児の確立のためのポイント、周産期のメンタルヘルスなど最新の医療・ケアの情報も収録した。

[2005] 978-4-8158-0513-5

高柳泰世／愛知視覚障害者援護促進協議会編

視覚代行リハビリテーション

—視覚障害者と高齢者のために—

A5判・190頁・2,600円

中途視覚障害者や、高齢者を含むロービジョン者は、他の感覚で視覚機能を代行することで、視覚が正常であったときに近い質の高い生活を送れるようになる。本書は、訓練法や補助具、工夫について、医師をはじめさまざまな専門分野の著者が、永年の経験に基づきわかりやすく解説した。

[2005] 978-4-8158-0524-1

中島 泉編

免疫実験法ハンドブック

B5判・376頁・7,600円

免疫学の歴史と主要概念を総覧するとともに、実験に必要な基礎的技法から、発展と生命科学への応用、臨床までの手技を、現場で実地に活用できるように具体的に詳述。基礎医学研究に携わる全ての学生・研究者、臨床現場で免疫学的知見を必要とする医師・臨床検査技師などに必携の書。

[2006] 978-4-8158-0536-4

見松健太郎／河村守雄著

やさしい肩こり・腰痛・シビレの話 [第2版]

A5判・198頁・2,200円

多くの人が抱え、症状も様々な肩こり・腰痛・手足のシビレ。本書は、短い診察時間では話せない、病気の原因や治療の方法、手術の内容を、専門医がイラストや写真を多用して分かりやすく解説する。治療の最新情報や診察現場での新発見を増補し、より詳しくなった、患者のための一冊。

[2008] 978-4-8158-0578-4

井口昭久編

これからの老年学 [第2版]

—サイエンスから介護まで—

B5判・354頁・3,800円

老化のメカニズムに始まり、疾病、医療、看護、介護、福祉まで、高齢者に関わる問題をトータルに、きめ細かく解説する。介護保険等、近年の制度変更の詳しい内容も盛り込み、医学生・看護学生だけでなく、ケアマネジャーなどの介護福祉関連の職業を志す人も対象とする最良の入門書。

[2008] 978-4-8158-0579-1

菅沼信彦著

最新 生殖医療

—治療の実際から倫理まで—

A5判・242頁・3,600円

生殖補助医療は身近になった一方で、進歩ゆえに生じた複雑な社会的・倫理的問題に直面している。本書は、最新の不妊治療法を詳述するとともに、ES細胞・iPS細胞等の先端科学技術の応用や、代理母・配偶子提供などが抱える現代的課題も取り上げ、その光と影をトータルに解説する。

[2008] 978-4-8158-0582-1

長屋昌宏著

新生児 ECMO

—臨床の手引き—

A5判・200頁・4,600円

高度な呼吸循環障害に陥った新生児の肺や心機能を補助する ECMO（エクモ）について、第一人者が豊富な臨床経験に基づきわかりやすく解説。ECMOの開始から離脱までの実技、維持管理の実際はもちろん、基礎知識や今後の課題をも網羅した、医師・臨床工学技士・看護従事者必携の書。

[2008] 978-4-8158-0593-7

H. ヨアンソン他編 間野忠明監訳 岩瀬敏／中田実訳

ストレスと筋疼痛障害

—慢性作業関連性筋痛症—

A4判・310頁・8,400円

職場環境や心理社会的要因から生じる筋肉・骨・関節等の慢性的な痛みや不快感について、病態メカニズムを明らかにしつつ、疫学・生理学・病理学など各分野の研究成果に基づき、臨床・治療に不可欠な知見を集約。医師やリハビリテーション医学・東洋医学・ストレス治療関係者のために。

[2010] 978-4-8158-0632-3

古池保雄監修 野田明子／中田誠一／尾崎紀夫編

基礎からの睡眠医学

B5判・460頁・5,800円

もはや現代の“国民病”といわれ、24時間型・高齢社会のなかで増加する睡眠障害。その臨床に必須の睡眠医学について、基礎知識から各検査法および症状・診断・治療まで、最新の知見を踏まえつつ、わかりやすく解説する。医師、コ・メディカル、保健学系・医学系学生必携の書。

[2010] 978-4-8158-0638-5

フランク・B. フー著 小林身哉／八谷寛／小林邦彦監訳

肥満の疫学

B5 判・492 頁・9,500 円

世界的に肥満が蔓延する中、わが国でも肥満やメタボリックシンドロームの急増に警鐘が鳴らされている。肥満の疫学研究について解説するとともに、肥満が社会に及ぼす影響や肥満の原因、肥満が関わる疾患について現在の知見を集約した待望の書。肥満の研究・予防・治療に携わる人に。

〔2010〕978-4-8158-0644-6

ジェニー・ストロング他編 熊澤孝朗監訳

痛み学

—臨床のためのテキスト—

B5 判変型・578 頁・6,600 円

痛みに取り組むための国際的テキストの邦訳新版。医療の現場では避けて通れない痛みのメカニズム・評価・マネジメント、痛みと心理・生活スタイル等を包括的に解説し、エビデンスに基づいた効果的な介入・治療を促す。作業療法士・理学療法士ほか、痛みの治療・研究に携わる人に。

〔2010〕978-4-8158-0646-0

下野恵子／大津廣子著

看護師の熟練形成

—看護技術の向上を阻むものは何か—

A5 判・262 頁・4,200 円

日本の病院と教育の現状から考える——。看護師の熟練形成がうまくいっていないのはなぜか。看護師は本当に不足しているのか。医療と看護の現在を各種調査にもとづく国際比較や内在分析から冷静に捉え、真の“医療崩壊”を防ぐために看護師の仕事とスキルアップを支援する制度を提言。

〔2010〕978-4-8158-0647-7

鈴木富雄／阿部恵子編

よくわかる医療面接と模擬患者

A5 判・192 頁・1,800 円

医療面接の基本知識と、医療面接の実習の場で患者役を演じる“模擬患者”になるための方法や具体的な実習の進め方を、第一線の執筆陣が最新の情報を盛り込みながら、やさしく解説する。医学・歯学・薬学・助産・看護分野のシナリオ集も掲載した、今日から練習に使える一冊！

〔2011〕978-4-8158-0659-0

市原 周著

新版 乳腺病理学

—細胞・組織・画像—

A4 判・124 頁・5,400 円

最新の WHO 分類（ブルーブック）第 4 版に準拠し、乳腺疾患の概念、針生検を含む病理診断のポイント、臨床画像などを簡潔・明快にまとめた、待望の改訂版。組織像や細胞像のカラー写真も大幅に更新・増補し、見やすい形で掲載。医師・臨床検査技師・診療放射線技師必携の書。

〔2013〕978-4-8158-0722-1

イボンス・ダーシー著 波多野敬／熊谷幸治郎監訳 山口佳子訳

高齢者の痛みケア

A5 判・220 頁・2,700 円

高齢者の痛みをどうケアするか。痛みのとらえ方や鎮痛薬の用い方、痛みを緩和するための補完的方法等について述べた、医療や介護の場で使える実践的な一冊。医師や看護従事者、リハビリスタッフ、介護・福祉関係者、患者家族、医療系学生など、高齢者の痛みにかかわるすべての人に。

〔2013〕978-4-8158-0732-0

島本佳寿広編

新版 基礎からの臨床医学

—放射線診療に携わる人のために—

B5 判・284 頁・3,700 円

臨床現場で必要な事項について、初歩から最先端の話題まで取り上げ、わかりやすく述べた好評テキストの最新版。最新の臨床画像を多数掲載し、医療被曝の章や復習問題を加えるなど、さらなる充実を図った。診療放射線技師はじめコ・メディカルの基礎教育はもちろん、国家試験対策に最適。

〔2013〕978-4-8158-0739-9

長谷川幸治著

最新 よくわかる股関節の病気

—手術をすすめられた人のために—

A5判・188頁・2,200円

手術をしなければいけないのか？ 骨切りと人工関節の選択は？ いつ復帰できるのか？ 手術前や退院後にすべきことは？ など——股関節が悪いと言われた患者さんや家族が知りたい疑問に答え、よりよい治療を選べるよう、専門医がやさしく解説する。ロングセラーの最新改訂版。

〔2013〕978-4-8158-0741-2

日吉泰雄著

血糖コントロールの実践

—臨床に根ざした糖尿病治療—

A5判・198頁・3,600円

糖尿病の本態を捉えるためには、血糖値の「平均」だけではなく、変動する血糖値自体に目を向けることが必須である。本書は、糖質制限食やカーボカウントなど近年注目の話題に考察を加えつつ、薬物療法に偏らない総合的な糖尿病治療を目指す確かな一冊。医師・看護師・栄養士必読。

〔2014〕978-4-8158-0764-1

勝又義直著

最新 DNA 鑑定

—その能力と限界—

A5判・326頁・6,000円

DNA 鑑定はどこまでが信頼でき、どこからが疑わしくなるのか。本書は鑑定の二本柱である個人識別と親子鑑定の現状について、生物学の基礎から、倫理的問題、最新のトピックまで、第一人者が分かりやすく解説した決定版。鑑定従事者や法曹関係者はもとより、警察官や裁判員も必読。

〔2014〕978-4-8158-0777-1

西澤邦秀編

詳解テキスト 医療放射線法令 [第2版]

B5判・220頁・4,600円

医療放射線法令の全体像を理解するために、医療法施行規則第四章の内容を、関連通知も含めて体系的に整理。図表や写真を豊富に用いて視覚的・直感的に把握できる。診療放射線技師をめざす学生だけでなく、医療放射線実務のための参考書としても必携。最新の通知内容を追加した改訂版。

〔2015〕978-4-8158-0804-4

上田裕一／碓氷章彦編

最新 人工心肺 [第5版]

—理論と実際—

B5判・292頁・6,000円

人工心肺・体外循環について、病態生理学的な基礎事項から具体的操作手順などの臨床面までもれなく解説した、定評あるテキストの最新版。周辺知識をまとめた付録の増補や、視覚に訴える読みやすいデザインなど、初学者へのさらなる配慮を加えた。医師・臨床工学技士・看護従事者必携。

〔2017〕978-4-8158-0864-8

社本幹博／越川卓監修 長坂徹郎／横井豊治編

細胞診断学入門 [第3版]

—臨床検査技師・細胞検査士をめざす人のために—

B5判・318頁・6,300円

細胞の見方や、検体処理・染色法などの手技、各種疾患の特徴などを丁寧に解説。分子生物学の応用やLBCなど、これからの細胞診に必須の知識も盛り込み、一冊で細胞診のすべてが把握できるよう編まれた好評テキストの最新版。信頼のカラー画像と見やすい構成で学習効果の向上を図る。

〔2018〕978-4-8158-0895-2

マーガレット・ロック著 坂川雅子訳

アルツハイマー病の謎

—認知症と老化の絡まり合い—

A5判・462頁・4,500円

専門家たちとの対話を重ねて見えてきた、ADという存在の曖昧さと、単一の病因を求めるモデルの限界。では、研究はどう進められるべきか。臨床診断の結果や遺伝的リスクはいかに理解されるべきか。患者や家族になされるべきことは何か。21世紀のエビデミックと向き合う視座を与える。

〔2018〕978-4-8158-0897-6

入山茂美／春名めぐみ／大林陽子編

現代の母性看護 概論

B5判・224頁・2,700円

現代社会で女性の生き方が多様化する中で、いかに母子の健康を支援するか。リプロダクティブ・ヘルスや母子統計などの基礎的事項だけでなく、生殖医療やシングルマザーなどの現代的な課題も取り上げ、保健分野を含め最新かつ必要な事項を盛り込んだ本書は、看護学生のテキストに最適。

[2018] 978-4-8158-0899-0
